

『曾高』と『志高』の熱き闘い



一進一退の攻防

4月28日、志布志市運動公園で「第2回志曾戦」が行われました。これは、志布志高校と曾於高校の両校が、スポーツを通じて愛校心を育み、親睦を深める目的で開催されています。

対戦競技は、サッカー、野球、バレーボール、弓道などの15種目で、曾於高校が12種目で勝利。見事、連覇を成し遂げました。全校応援となったサッカーでは、両校の応援合戦となり、メガホンを片手にユニークなパフォーマンスをしながら、大声援を選手に贈っていました。

南高梅の収穫体験



梅の収穫を行う参加者

6月5日、末吉町深川で南高梅の収穫体験が行われました。

企画したのは曾於市観光特産開発センターで、ほとんどの参加者が初めての梅狩りとなりました。ちようどいい大きさの梅を探し、それぞれが必要な量をとって、自身の袋をいっぱいにしました。

参加者のひとり「梅サワーや梅味噌といった知らなかったレシピも教えてくれて、とても嬉しかったです。これから何をつくらうか、とても楽しみ」と話しました。

今月はブルーベリーの収穫体験が行われる予定です。

巨大看板で交通事故防止を呼びかけ



看板設置に携わった関係者の皆さん

6月8日、大隅町岩川（県道63号線沿い）で高齢者交通事故防止看板の設置式が行われました。

設置したのは、シバ工芸の柴勝昭さんを中心に曾於警察署や地域安全モニター等の皆さん。岩川交番管内では、高齢者がアクセルとブレーキを間違えてパン屋に衝突する事故をはじめ、多数の高齢者による交通事故が起っています。

看板には標語がのっており、考案者の園田尚志さんは「孫と接するように、優しさをもって運転してほしいとの願いを込めました」と話しました。

子どもたちに落語の楽しさを



落語を披露する竹丸師匠

5月15日と16日に、大隅中学校、末吉中学校、財部中学校、岩川小学校の児童・生徒を対象に「桂竹丸巡回公演」が行われました。

楽しい落語解説から始まり、体験コーナーでは太鼓を叩いたり、短い小噺に挑戦しました。その後、竹丸師匠が新作落語「飛ばなかつた特攻隊」と創作落語「芙蓉部隊（岩川海軍航空隊基地）」を披露しました。日本の伝統芸能を通し、地元の歴史に触れるいい機会になりました。

8月6日には、大隅文化会館で一般に向けた本公演が行われます。



花房峡憩いの森ジョギング大会開催



5月21日、花房峡憩いの森で「第11回花房峡憩いの森新緑ジョギング大会」が開催されました。

コースは最大で90メートルの高低差がある難コース。2キロ、3キロ、5キロ、8キロの4部門32種目に市内外から約200人が参加しました。

目標タイムを目指して懸命に走る選手や自分のペースで走る選手、親子で手をつなぎながら走る選手たちなどそれぞれがレースを楽しみ、沿道からは声援が贈られていました。



初夏の風物詩「どろんこ祭り」開催



5月28日、たからべ温泉健康センター付近の田んぼで「第2回どろんこ祭り」が開催されました。

競技種目はミニバレー、どろんこフラッグ、どろんこ尻相撲の3つ。ミニバレーには市内外から23チーム（約200人）の参加があり、泥とのふれあいを楽しんでいます。

また、観光特産開発センターの特産品販売や焼き肉セットの有料貸出もあり、参加者は「曾於市のおもてなしに大満足です」と話しました。